

令和2年度 校長通信

Team 陽明



～自主 創造 敬愛 剛健～

沖縄県立陽明高等学校

沖縄県立陽明高等支援学校

発行者 校長 宮城 哲夫

素晴らしかった

陽明高等学校実践発表会

～各学年、学習の成果を発表～

総合学科 1 年次の「産業社会と人間」及び 2, 3 年次の「総合的な探究の時間」の成果発表を行い、キャリア教育の充実を図ることを目的として先月 27 日(水)にてだこホールで実践発表会が開催されました。

まず、「かぎやで風」と「谷茶前(たんちやめー)」の琉球舞踊で舞台を華やかにして頂きました。そして、第一部では、キャリア教育発表。それぞれの学年から選ばれた生徒が発表していたのでどれも素晴らしい発表でした。



〈華麗なかぎやで風の舞〉



谷茶前(たんちやめー)

第2部の授業成果発表(福祉の部)では、手話クラスの生徒によるパフォーマンスがありました。表現したい内容をきちんと手話で発表したり、歌



の内容を手話に〈手話で歌う? 2年手話クラス〉翻訳し、メロディーに乗せて発表するなどとても感激しました。第3部では合格体験発表があり後輩も参考になったのではないのでしょうか。そして第4部では、泉川桃香さんと比嘉啓貴さんから後輩へメッセージがありました。泉川さんは、「仕事は、働いてお金を得て好きなものを買う。学生は、勉強して、先生方から信用と評価を得て希望する進路のために使う。1, 2年生のみなさんも信用と評価

を蓄えて、来年、再来年のために使えるように今を大切に頑張って」と後輩へ熱いメッセージを贈りました。比嘉さん(左)と泉川さん(右)



3年生ともあとわずか

チーム陽明送別球技大会!

～絆が深まったぞ～



先週、送別球技大会をコロナ対策を万全にした上で開催しました。

この大会では、まず7組合同チームが2-2に1点差まで詰め寄る好ゲームもあったり、何といても、決勝が、すごい熱戦でした。なんと1年6組と3年1組の対決!結果は、現役バレー部が多い1年6組に軍配!試合終了後、もう一度、お願い土下座パフォーマンスが会場の笑いを誘いました。



〈3年1組の再試合を請うパフォーマンス〉

陽明 高等支援学校

～制作物の寄贈～

2月9日(火)、「特別養護老人ホーム 大名」にて、三年生6名が木工の授業において制作した‘三線立て(5(5台)’の寄贈を行いました。県の緊急事態宣言のコロナ禍という状況もあり、施設玄関においての寄贈式となりましたが、施設へ着くと同時に、マスコミも到着し、寄贈式の様子や理事長や所員の皆さんとの取材も行いました。

寄贈式では生徒一人一人が立派に挨拶をし、学校を代表して高見美桜さん(3-8)による代表挨拶を行いました。

お礼の挨拶として、内間所長より「とても嬉しく思います。これからも有望な皆さんなので、今後の活躍も楽しみにしています。」との感謝の言葉がありました。



三線立ての贈呈式

